

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 岐阜県立多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第2回)

2 開催日時 令和3年11月22日(月) 13:30~15:30

3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室

4 参加者

会長	加藤 大輔	市青年会議所理事長
副会長	樋口 正和	同窓会役員
委員	加藤 亨	明和工業株式会社管理部長
	稲垣 尚子	Mamas' Cafe
	松村 敦子	養正公民館館長
	日比野衣里	地域代表
	赤坂 栄治	前育友会長
	船戸 敬子	育友会副会長

学校側	有賀 昭人	校長
	曾貝 隆之	教頭
	三宅 克典	事務長
	田口 稔	教務主任
	青山 知喜	生徒指導主事
	小池 勉	進路指導主事
	加藤 龍輔	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) ICTの活用について

意見1:授業においてタブレットを活用する様子を見て、板書等の効率が良くなり生徒がより集中できるのではないかと感じた。今後も、ICTをうまく授業に取り入れることで、更に効率的な授業展開ができるのではないかと。

意見2:タブレットの使用頻度によっては、目などに疲労が蓄積し倦怠感を感じることも考えられるので、生徒の健康管理に気を付けてほしい。

(2) 学校生活について

意見1:トイレは清潔に保たれており、ロッカーやカバンはしっかり整理整頓されている。環境が人を育てるといえるが、小中学生や社会人でも大切なことであるので今後も継続して指導してほしい。

意見2:身だしなみについての指導の基準が難しいと思うが、清潔感のある身なりについて、現代の社会に合わせて考えていけるとよい。

意見3:コロナ禍ではあったがオープンキャンパスが実施できたことはよかった。また、「多工ボーイズカフェ」のように町に出て、地域の人々の目に触れながら活動できたのは素晴らしいことである。

(3) 進路について

意見1：地元就職に関して企業側も生徒に積極的に情報提供するなど努力していくことが大切であるが、学校側もインターンシップなどを積極的に活用して企業を知ってほしい。

意見2：奨学金制度について生徒に解りやすく説明することで、より有効に制度を利用できるようにしてほしい。

(4) 「三つの方針」スクール・ポリシーの策定について

意見1：人との係わりを構築していくことが難しい時代になってきたが、だからこそより豊かな人間関係を築くことはこれから重要になってくる。

意見2：ICTが進化しても、それらをうまく活用しながら、より対話的で深い学びなど授業等を通して推進してほしい。

意見3：生涯に渡って自らが学ぶことが大切である。その中でコミュニケーション力を身につけながら、働いたり地域活動に参加できたりするとよい。

意見4：地元の岐阜や多治見で活躍でき、セラミック業界を盛り上げてくれる人材を育成してほしい。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、各科の実習と座学の授業を参観した後に協議を行った。各科の実習について、生徒の積極的な活動に高い評価が得られた一方で、基礎・基本を大切にしてほしいとの意見もあった。座学でのタブレットを使用した授業についての多くの意見については、それらをふまえて今後の授業研究に生かしていきたい。また、地域との連携を求める声が多く、工業高校として地域に根差した活動の必要性を強く感じた。

来年度に策定する本校のスクール・ポリシーについて説明を行い、意見交換と協議を行った。